



井上靖『信康白 刃』から観る女性 の表象

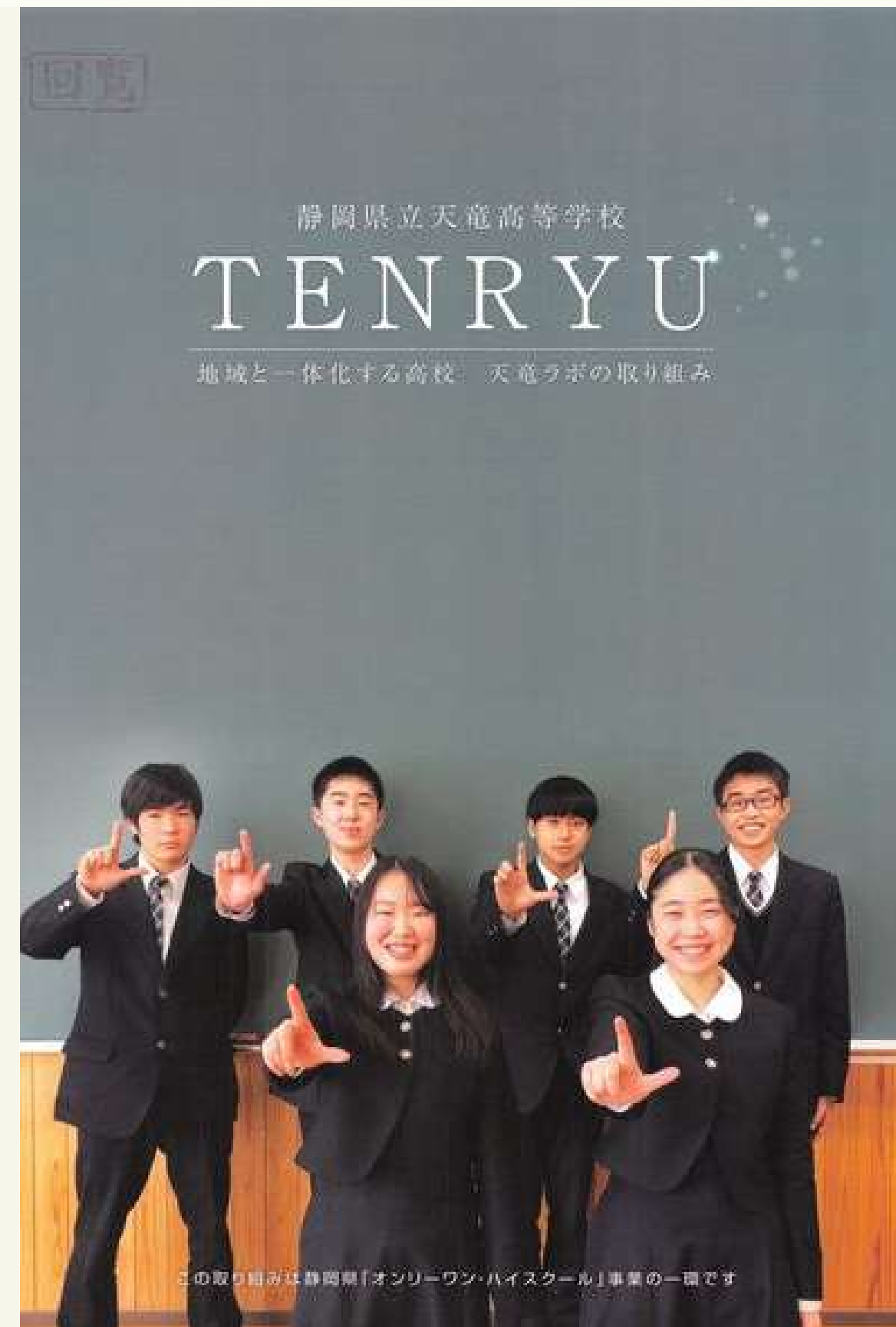
地域を教材化する
カリキュラム・マネジメント

静岡県立天竜高等学校
人文自然系列「文学国語」

「立場」からの解放と「強さ」

授業の紹介

文学国語
日本史探究
地域探究



文学国語の授業紹介 (2年次・3年次)

2年次

概念学習

3年次

リフレインの
意味や効果
生き残りの罪障感

伊勢物語
反語か疑問か
人間の孤独について

方丈記における
作者の態度や姿勢
アイデンティティとは



「おぼろ月」
自然描写と心情
文学表現

松平信康の
信康自刃を
テーマとして
調べ学習を
しました

文学国語では、作品を通して人間の本質を深掘りしていく作業を行ってきた。

地域探究

地域課題を題材として様々な事象に関わり、探究的な見方・考え方を働かせ、探究の過程を通して、必要な資質・能力を育成することを目的とする。地域の人と交流をして天竜の歴史に触れ、未来を考える。

クローバー通り商店街、二俣城、
信康公廟、二俣川、旧田代家住宅
浜松いわた信用金庫連携講座
天竜厚生会連携講座

日本史探究

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

天竜高校スクールミッションを 視座とした探究ビジョン

地域の自然や文化を愛し地域の発展に貢献するとともに、
自らの目標に向かって粘り強く努力し
未来を切り拓くことができる人財の育成を目指す。

文学国語 2・3年 4単位	日本史探究 2・3年 8単位	地域探究 2・3年 3単位
・ 概念学習 ・ 人間の本质について ・ 他者との関わり ・ 伝え合う力	・ 地域史・郷土資料の分析 ・ 歴史的な見方・考え方 ・ 国際社会性 ・ 主体性	・ 地域理解 ・ 地域連携 浜松いわた信用金庫連携講座 天竜厚生会連携講座

地域・実社会に開かれた探究学習

昭和41年 1歳

大正3年 7歳

大正9年 13歳

大正10年 14歳

母の故郷に移住
(静岡県田方郡上
狩野村湯ヶ島)

湯ヶ島尋常高等小
学校 入学

祖母が死去、浜松に移住
2月-浜松尋常高等
小学校転校

4月-静岡浜松師範学校附
属小学校高等科 入学

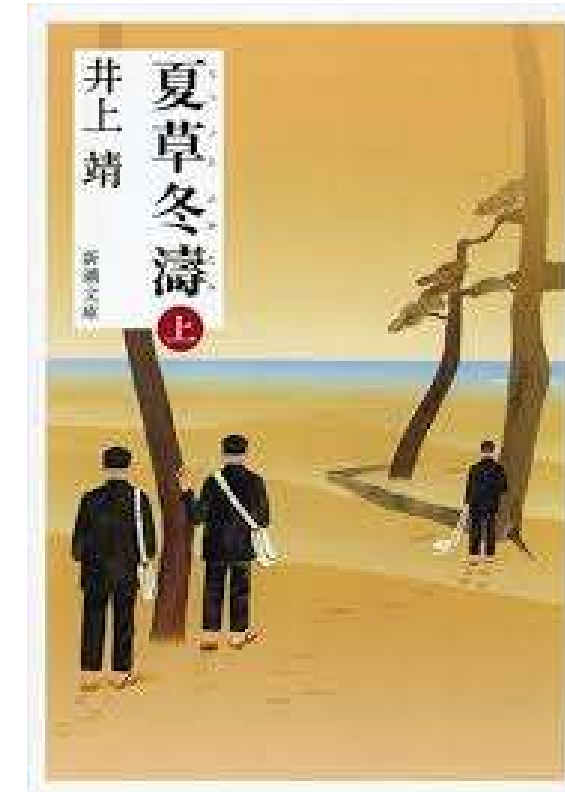
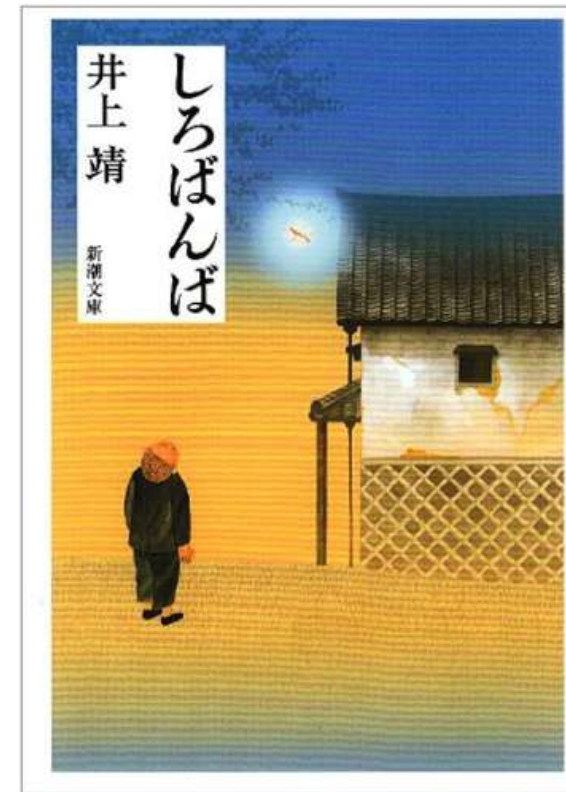
静岡県立浜松中学
校主席合格

井上靖の少年期

井上靖 浜松市との関係性

浜松市が描かれている その他の作品

井上靖が浜松で過ごした影響がよく表現されている。



作品	孤猿	忘れ得ぬ人々	あすなる物語	湖の中の川	ダム湖の春	満ちて来る潮	川の話	天竜川の旅
舞台	浜松	浜松	浜松	弁天島		佐久間など	天竜川	佐久間ダム

信康自刃 あらすじ



織田信長の娘・徳姫が徳川家康の息子・竹千代に嫁ぐため、永禄十年五月二十七日に清州城から岡崎城へ婚礼行列として向かう。

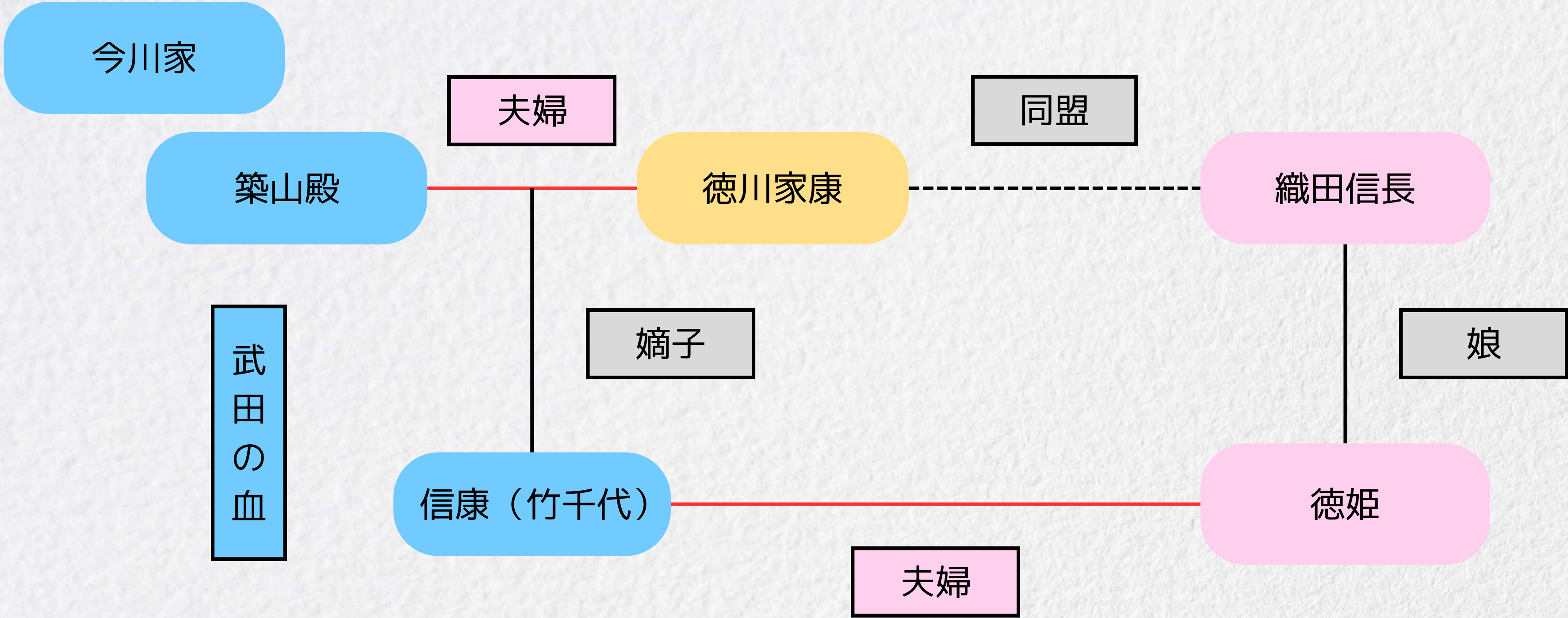
徳姫は岡崎城での生活を始め、義母の築山殿と対峙する中で複雑な人間関係に巻き込まれていく。築山殿の態度は冷たく、信康との関係も次第に悪化していく。

信康は初陣で活躍を上げ、名声を高めていくが、父・家康や周囲からは疑念と不安を抱かれる。徳姫は信長に、信康と築山殿の罪状を告発する。

徳姫の訴えにより、信長は信康と築山殿の処罰を家康に命じ、最終的に築山殿は殺害され、信康も二俣城で自刃した。

その後、徳姫は岐阜に帰るが、以降の徳姫については殆ど知られていない。晩年は京都で過ごし、寛永十三年になくなることだけが伝えられている。

信康自刃 相関図



問い（小説の位置付け）

問い1

徳姫は、幼い子供でありながら家康の家に送り出され、築山殿によって厳しい折檻を受けるが、それに耐える。徳姫の強さと**忍耐力**を書くことによって女性の内面的な強さを**表現している**のではないか。

問い2

『信康自刃』が書かれた当時、女性の社会進出の意識が高まっている。しかし、本文での築山殿は夫に従い、依存するような古い女性のイメージが描かれているのはなぜか。

信康自刃 先行研究

川口明美「井上靖の女性観」

- 「**理想的活一種の永遠の女性像**へと発展した美しい叔母のイメージ」
- 「菊地仁氏の言う、『**存在すること自体の哀しみ**』とでもいうのであろう。」
- 「両者とも内にあるのは孤独と寂寥感であった。」作中の女性は共通して**孤独と寂寥感**を抱えている
- 「彼女自身も知らなかった別の女が目覚め始める」**二面性**のある女性も津城している

趙秀娟「井上靖小説における女性像」

- 「楊貴妃という人物像に『**華にも意地あり**』という**女性の強さ**がはっきり現れる。」
- 女性の美しさは「**多少異質っぽいものと哀れっぽいものを同時に併せ持ったものの**」と井上靖は語った
- 「（他作品の茶々と楊貴妃の）共通点は**悲劇生から脱出して強さにつながる自分らしさ**を持っていること。」

井上靖の女性観について

（引用文）

「利休の妻たちは、彼の判断を見守りつつも、どこかでその運命を共有しているかのようだった。彼女らの沈黙には利休の内面的な苦悩が映し出されていた。」

（考察）

井上靖は女性キャラクターを単なる観察者としてではなく、主人公の運命を共有する存在として描いている。これは、女性の重要性を示している。

井上靖の女性観は女性の内面から読者に共感を引き起こすとともに、女性の強さと弱さを表現している。

井上靖の他作品との類似性～信松尼記を引用～

信松尼記

- 「17歳の養女は、二十歳の活友のところへ嫁いできた。」
- 「勝頼が、北条との盟友関係を復活させるために、氏政の妹である十四歳の少女を室として迎えた。」

信康白刃

- 「信長の娘・徳姫が家康の嫡男・竹千代に嫁ぐ。」
- 「織田、徳川両家の婚姻とは言え、自分の娘を相手方へ手放す信長にしてみたら～」

- 
- 当時の女性の社会的な立場の弱さが描かれている
 - 社会的な立場に負けない芯の強い女性、何があっても動じない自分（態度）を持っている女性が描かれている

日本史探究との連携－文学と歴史学－

目 的

徳川信康の描写について、文学国語で井上靖の『信康自刃』を通して、文学的な視座からの描写について研究した。時代小説ということもあり、日本史に関わる部分もあるため、歴史学の視座からはどのように描かれるか疑問を持った。

方 法

- ・ 徳川信康を文学的に研究した成果が井上靖の『信康自刃』である。
- ・ 徳川信康を歴史学的に研究した成果と上記を比較することで、文学と歴史学の描写の違いを明らかにする。
- ・ 歴史学的な研究成果として昭和58年刊行の『天竜市史』を用いた。

日本史探究との連携－文学と歴史学－

相違点

- 松平信康の心情が描かれていない
- 市史には築山殿の記述がない

※信康自刃では築山について新たに記述されている

- 市史では捏造や誇張があったと言われている



- 井上靖の想像が作品に多く使われている

相違点 まとめ

自治体史と歴史小説の具体的な相違点…

自治体史では史料を元に作成されるため、誇張や捏造ができない。一方、歴史小説内ではフィクションとしての誇張や想造ができる。その誇張や創造性に筆者の伝えたいことが書かれているのではないか。

信康白刃を読み解くために

登場人物である松平信康や築山殿における誇張や創造性に焦点を当てて、筆者の意図を理解する必要がある

信康自刃における徳姫の

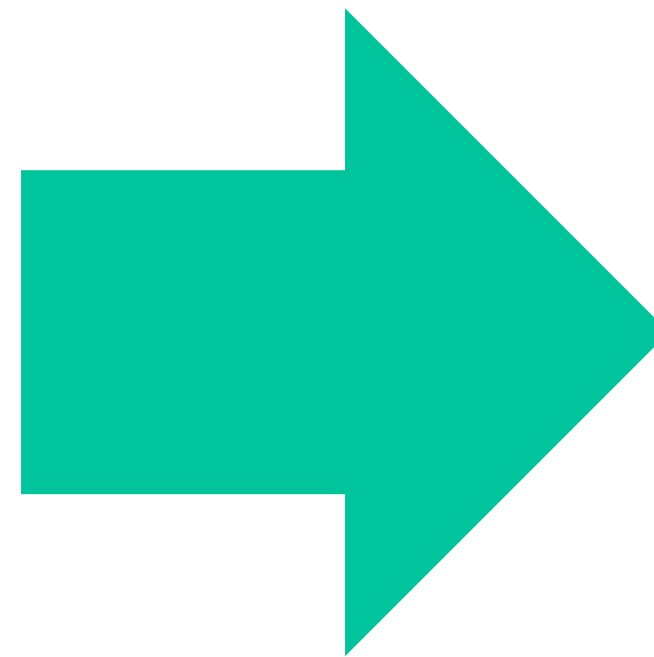
〈女性〉性について



01

要因として挙げられるもの

- ・ 他人から痛みを与えられたこともなかったし、従って痛みに耐えるということも知らなかった。
- ・ 侍女に尋問する。



02

分かること

- ・ いかなる苦痛にも耐え忍ぶ力を持っている。
- ・ 冷静な判断力と洞察力を持っている。
- ・ 必要な行動を取る勇気と決断力を持っていた。

信康自刃における築山殿

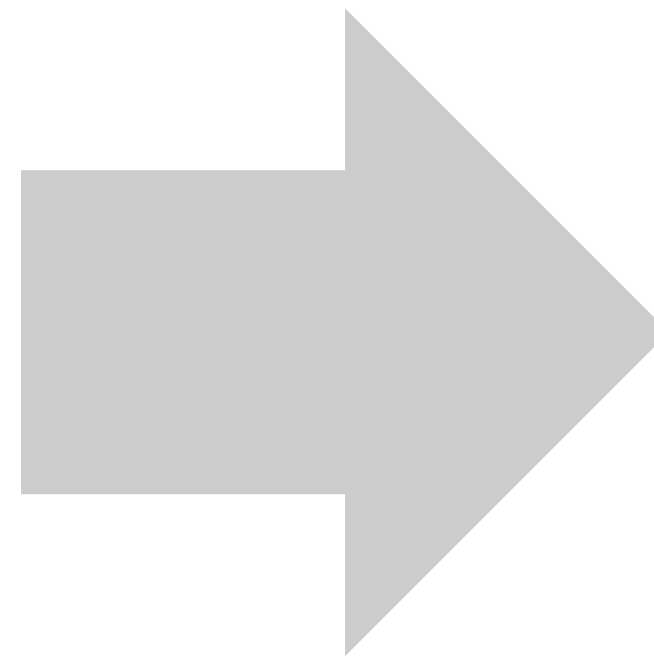
の〈女性〉性について



03

要因として挙げられるもの

- ・「男が生まれてこそ、家のためにも国のためにもなるというもの！今川の血を絶やすおつもりか」それだけ言うと～（引用）



04

分かること

- ・表向きは冷静な女性だが夫のためだと感情的になる
- ・今川の血を大切にして
いる
- ・悪女

信康自刃における女性の表象

相違点・女性の表現から分かったこと



自立たないよ
うにしている

基本的に表舞台に出ることではなく、至って冷静である。

感情的に表現
されている

表向きは冷静だが、内面での感情の起伏が激しい。

環境適応能力
がある

弱いため権力に服従し安全を得るが、苦痛に耐え欲望のために行動する力も持つ。

写真引用元：朝日新聞社 - 『アサヒグラフ』 1955年10月19日号

問 い へ の 解 答

問 い 1 へ の 解 答

・ 井上靖はエッセイの中でいかなる女性も烈しい運命(悲劇)と戦っており、徳姫を女性の代表としてそれに耐えうる力をどんな女性であっても持ち合わせていることを示している。

問 い 2 へ の 解 答

・ 現代と似たような考えを持つ徳姫と、男性に服従するといったような古い考えを持っている築山殿を対比させ、徳姫にスポットライトを当てることで、信康自刃の書かれた当時の現代の女性のイメージを強調し、女性にも行動する力や男性と同等の地位や能力があるのだと示している。

写真引用元：刀剣ワールド





信康公についてどう思っているのか、
地域をよく知る人にインタビューしてみました

インタビュー動画は、非公開です

浜松市長

中野 祐介様



天竜浜名湖鉄道

山本 展也様

信康まつりについて

昭和 36 年(1961)に信康を顕彰する活動を地域全体に広げようとの機運から第 1 回信康まつりが行われ、開催を重ねている。

一説には、「中村錦之助(萬屋錦之介)主演による映画『反逆児』(昭和36年11月8日劇場公開)の制作をきっかけとして開催した」とある。(清瀧寺 先代住職 談)

現在は、天竜産業観光まつりの一部の武者行列として開催されている。





ご清聴ありがとうございました



今日のスライドは、後日、
天竜高校HPで公開予定です。